

無駄を考える

結婚式・お返し・成人式の総点検



経済不況の現代、庶民の生活はますます苦しくなるばかり——。
 なのに年ごとに派手になるのは結婚式、成人式の振り袖などなど。
 “そんな見えは捨てて、生活の無駄をなくしましょう。”と市内で簡素化の運動をしている方々とその運動に理解を示している方々に今回はお集り願ひ、日ごろの運動を話していただき、無駄の総点検をしていただきました。

話された方々

- ▷ 門田真一 (教育長)
- ▷ 浜田弥芳 (市連合婦人会長)
- ▷ 山本幸男 (市農協常務理事)
- ▷ 西本良平 (市連合青年団長)
- ▷ 高木正平 (市職員)
- ▷ 中山泰夫 ()
- ▷ 山本律子 ()
- ▷ 広報委員

お返し廃止は

地域・組織ぐるみで

司会・みなさんご存知のように、「生活の無駄をなくする運動」は県下のにも行われていますが、その実践となるとなかなかむづかしい状態です。みなさんの回りにはどういう運動があるか、まずお返し廃止の実態からお聞かせ願ひたいのですが。

▼これは、県下の婦人団体が協力してやろうというので、かけ声をかけて始めたものですが、実際

にはなかなかできていないようです。婦人会の中でも、仲間同志と近所ではできているようですが、親戚や部落外では少しもできていない状態です。

▼青年団では、瓶岩の例になりましたが、結婚式や節句の場合は集めた慶弔金の中から、青年団単位で決められた額をあげています。しかし、お返しはいたたかない方針にしています。

▼市農協では、婦人会と連絡を取りあいお返し廃止運動をやっていますが、あまり守られていない状態です。お包みは、みんなが守られる金額、方法をやっています。

▼お包みは、共同印刷をしています。その裏には、「ささやかな気持ちをお納めください。お返しの心遣いはありません。」と、書かれてあります。

▼ですから、お返しはいたたかないことにしています。後から届ける人がいるので困ってしまいます。(笑)。

司会・市役所内では、どんな実態ですか。

▼市職員間では申し合わせはありません。

司会・この間の婦人会と職員組合との話し合いでは、お返し廃止の方向で努力すると言ったことでした。

▼職場ごとに、結婚はいくら、お見舞いはいくらかという相場はありますし、お返しもいただいています。

▼一例を言いますと、市内のある会場では、お返しをする人には会場を貸さないという所もありました。しかし、今まで自分はお返しをもらっていたので、市職員には後で配りました。(笑)。

▼私の場合は、お返し廃止の運動は前から知っていましたし、自分の意見も述べましたが、結局、家の都合や慣習に従うことになりました。

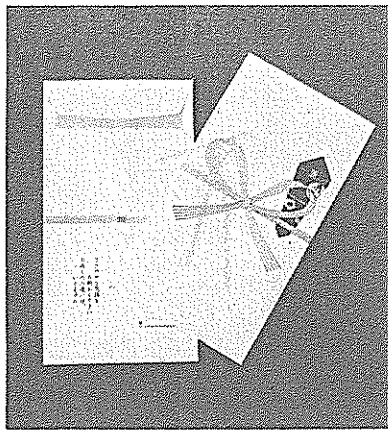
司会・なかなか難しい実態ですが、瓶岩のような勇気ある行動はどうしてできたのでしょうか。

▼地域ぐるみや組織ぐるみでやらないと、一人ではなかなかできないのではないのでしょうか。

▼その行動を阻害するものに、今までの前歴などがありますが、それをいつか、誰かが打ち破らなれないといけないですね。

▼案内状へ「地区で決められていますので、お返しは遠慮させてもらっています。」と明記するのも一

生活の



▲農協の発行している金封。これには、「ささやかな気持ちをお納めください。お返しの心遣いはありません。」と印刷されている。

つの方法でしょう。

▼案内状ですが、往復はがきを出した人もいます。

▼勇気のいることですね。招待する人に徹底させることで、この運動も浸透しますよ。

▼私は、取りどりになって悪い気がしたので、お返しの代りに、金額の一部をある所に寄付しました。それで、その心苦しさが少しでも

▼公民館活動でも、婦人会でもと

▼ここでひとつ、市の職員から始めてもらいたいですね。職員組合も考えていただいて……。

▼お返しは親の見えですね。

▼市農協では、結婚式会場が市内、市外であろうとも、職員の関係はお返しはしないことにしています。

▼職員が率先してやるべきだと考えています。

▼お返しは親の見えですね。

▼市農協では、結婚式会場が市内、市外であろうとも、職員の関係はお返しはしないことにしています。

▼職員が率先してやるべきだと考えています。

▼ここでひとつ、市の職員から始めてもらいたいですね。職員組合も考えていただいて……。

▼公民館活動でも、婦人会でもと

お包みは

一度で十分

いうふうに、まず市の関係から。

▼市の職員がやらない限り、この

司会・続きまして、結婚式の簡素化についても意見を述べていただきましたのですが……。

▼お返しよりも式の簡素化が大事で、それをすればひとりで変わってくると思います。

▼とにかく、今は業者が和洋折衷だとか言っていて、手を変え品を変えてやっていますね。

▼なぜウェディングケイキを切るかということでも、誰れ一人答えることができなかったですよ。

▼共同作業では……。(笑)。

▼ケイキの代りにスイカを切った人もいましたよ。(笑)。

▼いいアイデアですね。

▼でも、ウェディングケイキとか蛇の目傘のお色直しは、そんなに経費がかかりませんが……。

▼お色直しも何度もやりますが、一度で十分ではないでしょうか。

▼主人公を見に来ていることですし、あまり席をはずすとよくないですね。

▼そんなに派手にしなくても、意気さあれば二人は結婚できます。

▼公民館などの施設を利用すると

お返し廃止運動はできませんぞね。(笑)。

安い経費でいきます。

▼また、結婚の場合でも県外では質素ですね。

▼高知は特に派手で、県外の人が見てびっくりしますね。(笑)。

▼まず小さいものから始めていかないといいですね。例えば、金封などから始めたらどうですか。

無駄の王者

成人式の振り袖

司会・成人式の服装も派手だと言われますが、みなさんはどうお考えですか。

▼派手になっているというのは確かですね。

▼特に女性の振り袖が、その対象になっているのではないのでしょうか。

▼せめて成人式だからと言う親の気持ちがあるのではないのでしょうか。

▼親ばかりではなく、子供もそんな気持ちがありますよ。

▼成人式の振り袖は無駄の王者で

商店には申し訳ないと思いますが。

▼金封は一枚五円と安価ですね。

▼その簡素にできた金封を使うにはなかなか勇気がいりますね。

▼金封を使い始めは涙が出るほど恥かしい思いがしました。(笑)。最近はお互い慣れて、わかってきています。

▼金封が自宅にない時は、隣りで借りて使っています。

▼お包みの金額もあまり少ないとこの申し合わせは守れなくなりそうですよ。やはり適当な金額でないといけないですね。

▼後々まで着れる着物はないものでも、自分で着れないものをなせ着たがるのでしょうか。

▼成人式会場で行っている二十歳の献血も和服だとやりにくいですよ。

▼今年の成人式は、男性の七割が背広、女性は三人だったのでしょうか、その人が洋服で、その他は和服、振り袖でした。

▼簡素化は、いつも呼びかけられているでしょう。

▼私の成人式は簡素化が広報でもPRされてきた時でした。みんな洋服で出席するものと信じ、洋服で出席しましたが、洋服は四、五人のみでした。肩身の狭い思いがしました。

▼青年の立場から言わせてもらおうと、二、三十万円かかると言われるものを着るのですか。年に一、二度しか着れないそうでは、着物を見せるための成人式ではないのですから、むしろ女性が

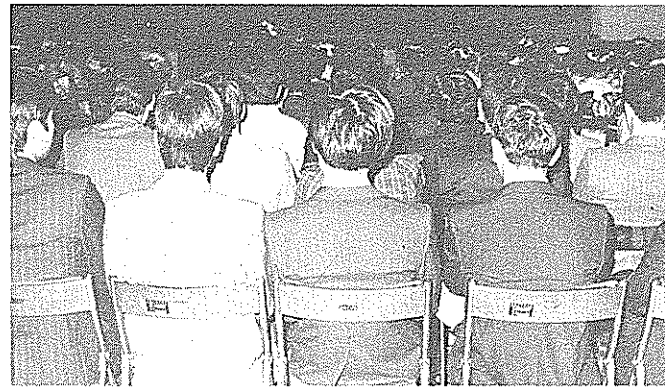
▼行政としては指導はできませんが規制となる問題もあります。▼着物で行って、入場できなかったという事も考えられます。▼いっそもう成人式をやればいいのでは……。夏休みは学生も帰省するし、水着姿も現れるかも知れない(笑)。

▼夏は暑くて着物どころではない。▼市には冷房設備の大きな建物もないし、農家の忙しい時でもありませんね。

▼やはり、親があまり言わなかつたら、現代の人は着物を着たいとは思わないと思いますよ。▼親同志の競争もあるのでは……。▼司会・親の教育が大切ということになりますか(笑)。



▲年々派手になる成人式の振り袖は、「無駄の王者」と批判の声もある。費用は20~30万円はざらとのこと。▲一方、男性の服装は背広姿が多くなりだした。— 無駄をはぶく運動は一人ひとりの勇気ある行動で……。



同和教育シリーズ ②

部落解放への道標

部落問題と国民的課題

〔部落差別と私たちの生活〕
《部落差別とその他の差別》
いろいろの差別の一つを許す差別意識は、他のいろいろの差別も許し全体として一つの差別意識となります。そして、その差別意識が、これらのいろいろな差別の集まった最もひどく深刻な部落差別に對しても「差別は仕方ない」とだから部落差別も仕方ない。」と

部落差別を認めてしまうのです。また、同和地区に対する誤った知識や偏見・予断をもっている、同和地区に対する差別意識をもっている人は、その他の差別に對しても同じような差別意識をもっている、部落差別に於いて、それ以外の差別には気がつかない、差別に對して寝ている人もあります

部落差別によって、仕事をわれ、人権をおかされているのは同和地区の人々ですが、それと同時に地区外の人々も賃金を引き下げられ、悪い労働条件を強いられる、同じように不利益を受け、その生活を引き下げられているというわけです。部落差別は、同和地区の人々のみならず、全ての国民の生活を引き下げ、その生活を苦しめているということなのです。

また、部落差別は私たちの国民の生活を向上させようとする意欲をはばむ働きもしているのです。言いかえると、部落差別は国民の不満や不合理に対する憤りをそらし、全ての生活を見つめ生活を改善しようとする考え方をねじまげ、国民にあきらめの考え方を生み出させ、国民の生活の向上を阻む働きをしてきているわけです。

部落差別は国民の判断を誤らせ国民の願いや要求をばらばらにさせる働きを果たしています。国民全てが差別をにくみ、差別を許さないという考え方をもち、異なるならば、みんなが力を合わせてその差別と不合理を止すこともできますが、社会全体に差別意識が残っていると、その差別と不合理がまかり通ってしまうことになり、部落差別のために判断を誤ると、みんなが楽しく豊かに暮

部落をなくすることは、ただ同和地区の人々が解放され幸福になるということのみではなく、私たちの心の中にある差別意識を取り除き、私たちの中にある差別体質を打砕いて、全ての国民の生活をゆがめ不幸にしている一切の差別をなくして、全ての日本国民を幸福にし、日本を憲法に示されている本當の民主主義国にすることであるということであり、

《部落差別と国民的生活》
部落差別は、私たち国民の生活を引き下げる役割を果たして、いま

このように、部落差別は国民全体の生活を向上することに對してブレーキの役割を果たしているのです。従って、部落を解放することによって初めて、全ての国民の願いが正しく実現し、その生活を向上させることができるわけです。

部落解放とは、同和地区の人々が生れた時から人間として当然持っているはずの基本的な人権を憲法に定めてあるとおりにとりかえしてゆくこと、そのことによつて自由を職業を選び、自由に結婚の相手を選ぶことや自由に住居を定めることなどができるようにすることです。

二十歳をテーマに論文募集
成人式は、昭和三十三年四月二日から三十四年四月一日までに生まれた方を迎えて、一月十五日に行われます。
ところで、成人式典に参加される若人、特に女性の着物は年々豪華になり、成人式のためにわざわざ着物を新調し、見せかけのファッションに執着する傾向となつています。この座談会の「無駄をなくする運動」でも取りあげられているように、成人式の趣旨をよく考え、二十歳の自覚を大切にして、若人らしい、気がるな平服で参加されるよう希望します。ご家族の方も十分ご理解されますようお願いいたします。
【教育委員会社会教育課】